

### 第36回長野県フィギュアスケート選手権大会

1. 主催 長野県スケート連盟
2. 主管 長野県フィギュア委員会
3. 期日 平成30年2月24日(土) 時間：11:00開会式 12:00競技開始 参加人数により調整  
※参加人数により変更することがある
4. 会場 風越アイスアリーナ（軽井沢町）
5. 競技規定 I. S. U. 及び日本スケート連盟の競技規定による
6. 競技種目 男女ともシングルスケート
7. 参加資格 長野県スケート連盟登録クラブの登録者  
クラス分け課題は別紙のとおり、
8. 表彰 (1)選手権クラス1位の者に優勝杯、メダル及び賞状、2位から3位にメダル及び賞状、  
4位から6位に賞状を授与する  
(2)他各クラス1位から3位に賞状及びメダル、4位から6位に賞状を授与する
9. 参加申込 日本スケート連盟ホームページ「競技会オンライン申込サイト」<https://www.skatingjapan.jp/myac/>  
より申し込みと予定要素を入力する。
  - (1) 申込締切日 平成30年1月29日(月) 必着
  - (2) 申込み先 〒380-0911長野市稲葉575-2山崎弘雄TEL090-2670-4093FAX026-221-2230
  - (3) 参加料 1人5,000円（大会当日クラブ毎にまとめて集金）
  - (4) 予定要素は2月19日までに 日本スケート連盟マイページサイトにて登録すること

## 【競技種目】

### シングル・スケーティング男子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上	2017年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分30秒±10秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケーティング
ジュニア選手権	5級以上	1998年7月1日～2004年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 4分±10秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケーティング
ノービス A	4級以上 (見込み級を含む)	2004年7月1日～2007年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	3級以上 (見込み級を含む)	2006年7月1日～2009年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
4級クラス			3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分±10秒	別記 1
1級クラス			1分±10秒	別記 2
初級クラス			1分±10秒	別記 3

### シングル・スケーティング女子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上	2017年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケーティング
ジュニア選手権	6級以上	1998年7月1日～2004年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケーティング
ノービス A	6級以上 (見込み級を含む)	2004年7月1日～2007年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	5級以上 (見込み級を含む)	2006年7月1日～2009年6月30日の間に出生した者(来シーズン年齢含む)	2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
5級クラス			3分30秒±10秒	ISU ジュニア課題 フリー・スケーティング
4級クラス			3分±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			2分30秒±10秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分±10秒	別記4
1級クラス			1分±10秒	別記5
初級クラス			1分±10秒	別記6

※1 選手権、ジュニア選手権のフリー・スケーティングはショート・プログラムの上位24名で行う

## 競技課題の内容(No.1)

選手権クラス ショート・プログラム

演技時間 2分40秒±10秒

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケート動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後最少8回転	
e)スピン	足換え1回のみの キャメルまたはシット・スピン	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニングスピン
	フライング・スピンのランディング・ ポジションと異なるもの	あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢※	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ スピンのポジションとして認められるためには2回転必要

ジュニア選手権クラス ショート・プログラム

演技時間 2分40秒±10秒	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ルッツ	
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケート動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・シット・スピン	
	空中姿勢と同じ姿勢	
	着氷後最少8回転	
e)スピン	足換え1回のみの キャメル・スピン	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン
	各足最少6回転(合計12回転)	あるいは足換え無しのキャメル 最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ スピンのポジションとして認められるためには2回転必要

## 競技課題の内容(No.2)

ノービス A クラス

演技時間 3 分 ± 10 秒

	男子	女子
ジャンプ	最大 6 個	
	第一ジャンプとして、ループ・ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フィリップ・ジャンプの3種類を含む	
	アクセル系のジャンプは必須 単独あるいはコンボ/シークエンスで行う	
	単独でも、コンボ/シークエンスの一部としてもいかなるダブルジャンプは 2 回まで	
	ダブルアクセル、トリプルの 2 種類のみ、コンボ/シークエンスの中で繰り返し可能 単独で繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは2つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン※	異なった種類 3	
	フライング・スピン(足換え無し 姿勢変更無し 最少 6 回転)	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバックまたはサイドウエイズ・リーニングスピン あるいは足換え無しのキャメル
	足替えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、最少 6 回転(足替えの場合には最小 10 回転以上) フライング・スピンと異なるベーシックポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーションフライングからの入りは不可、足換えは任意 最少 10 回転	
ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シークエンス	

※ ポジションとして認められるには 2 回転必要

ノービス B クラス

演技時間 2 分 30 秒 ± 10 秒

	男子	女子
ジャンプ	最大 5 個	
	第一ジャンプとして、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの2種類を含む	
	シングル・アクセル系のジャンプは必須単独あるはコンボ/シークエンスで行う	
	単独でも、コンボ/シークエンスの一部としてもいかなるジャンプは2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプルの 2 種類のみ、コンボ/シークエンスの中で繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは 2 つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン※	異なった種類 3	
	フライング・スピン足換え無し 姿勢変更無し 最少 6 回転)	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバックまたはサイドウエイズ・リーニングスピン あるいは足換え無しのキャメル
	フライングからの入りは不可、最少 6 回転足換えの場合には最小 10 回転以上 フライング・スピンと異なるベーシックポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーションフライングからの入りは不可、足換えは任意 最少 10 回転	
	ステップ	コレオグラフィック・シークエンス
形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの(レベルはフィックス、GOE のみで評価される)		
-		少なくとも1つ 3 秒以上の支持なしのスパイラル

※ ポジションとして認められるには 2 回転必要

## 競技課題の内容(No.3)

【別記1】 2級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 2分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記2】 1級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベルB で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定する。

【別記3】 初級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

**【別記 4】** 2級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 2 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベル1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シーケンス

**【別記 5】** 1 級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)最大レベル1で評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベルB で評価をする。

シーケンスの長さは 1/2 以上で認定をする。

**【別記 6】** 初級以下クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

## 競技課題の内容(No.4)

### シングル・スケートティング

#### 【フリー・スケートティングの減点について】

- ①転倒は1回につき 1.0 減点される。但し、ノービス課題は 0.5、2 級以下のクラスの減点は 0.2 点とする。
- ②滑走時間の過不足は規定時間の過不足 5 秒ごとに 1.0 が減点される。

#### その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。  
(2 級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには 3 回転以上が必要、3 回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に 1/4 回転よりは大きいのが、1/2 回転未満の場合は Under-rotated “<”、1/2 回転以上の場合 Downgraded “<<” となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネンツの係数(ノービスクラス)  
男子は 2.0、女子 1.6
- ※6 初級・1 級・2 級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOE の値ではない)に対する 1.1 倍は考慮しない。
- ※7 シングル・スケートティングのショート・プログラムにおいて、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOE の値ではない)は特別に 1.1 倍される。

#### 日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817 号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5    21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合

上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。

#### 2級以下ロークラスにおける演技中断の減点

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.2 を減点する。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し1.0 を減点する。

採点システムにおいては転倒減点を使用して成績処理をします。